

『青嵐のロンド 陽だまりに吹く風[3]』

著: 吉原理恵子

ill: 緒田涼歌

見慣れた、神奈木の笑顔。

つい……錯覚しそうになる。何事もなかった頃の続きではないかと。

「おはよう、千堂。…っていっても、もうお昼もとっくに過ぎちゃったけど。でも、今日は初めてだから、やっぱ、おはよう……だよな？」

相変わらずの神奈木ペース。なんか——出(で)端(ばな)をくじかれて緊張感も立ち消えになる。

壁の時計に目をやると、すでに五時間目が始まっている時間だった。

「おま……何、やってんだ？ 五時間目……始まってんぞ」

すると、神奈木は露骨に顔をしかめた。

「声……すっごく痛そう」

痛いのは喉で、声じゃない。

やっぱり、コイツは、どこかズレてる。

「ゴメン……。おれのせいだよな？」

決めつけられて、昨日のことが不意にフラッシュバックする。

さんざん喘がされて、揺すられて、突き上げられた感覚までもがまざまざと甦って——擦り切れたはずの羞恥心が顔面を灼いた。

——瞬間。

一真は脊髄反射のごとく、身体を振(よじ)って左手でパンチを繰り出した。

——つもりだったが。

「ペチン」

神奈木の頭に当たったのは、弱々しいだけのヘナチヨコ・パンチだった。

(痛(イ)ってえ……)

無謀な条件反射の揺り返しが来て、一真は呻く。

それでも。

神奈木は、一真が付けた青斑の手形のときよりも数倍痛そうに顔を歪めた。

「殴っていいから……。千堂には、おれを殴る権利あるから」

そんな顔で、そんなことを言われたら……。

(俺のほうが悪いみたいじゃねーかよ)

一真はギリと奥歯を噛み締める。

「おまえ……とつと戻れ」

「ウン。ちゃんと千堂の顔も見られたし、声も聞けたから。これで、ちょっと安心した」

「俺はよけいに、気分が悪くなった」

皮肉まじりのジョークではない。本心である。

「だから、おまえ、二度と俺の視界に入ってくるな」

「イヤだよ」

即答する神奈木は、マジだった。ある意味、それも予測の範疇だったが。

「おれは、いつもと同じがいい」

「んなこと……無理に決まってるだろ」

「どうして？」

——どうして？

それは、一真の台詞である。

「ねえ、なんでダメなの？」

あー……また、始まった。

それを思うと、またぞろ偏頭痛がしてきた。

『どうして？』

『なんで？』

駄目なものは、ダメ。

ムリなものは、無理。

そんな簡単なことが、どうして神奈木(コイツ)には通じないのだろう。

「おまえ……。自分のやったこと、ちゃんとわかってんのか？」

勢い、一真のトーンも尖る。

「ウン。千堂とセックスして、ちゃんと二人で気持ちよくなったよね？」

ちゃんと二人で——を強調する神奈木は確信犯である。

そこに、合意はなかつただろッ！

それを叩き付けてやりたいが。喉が痛くて、目で怒鳴る。

「だから、殴っていいよ。あんまり気持ちよくて、途中から、おれ……ただのケダモノになっちゃったし。それは、すごく反省してる。千堂が絶不調になったのも、全部、おれのせい。わかってる。だから、気の済むまで殴っていいから。——でも、視界に入ってくるなって、そんなの絶対にイヤだから」

「俺がイヤなんだよ。おまえの顔は見たくないし、声も聞きたくねーんだよ」

まじり気ナシの本音一〇〇%である。

「じゃ……いつまで？」

「何が？」

「二日？ 三日？ それくらいだったら、我慢できるかも」

一生してろッ！

胸の内ですり捨てただけで、ゼイゼイと息が上がる。

「好きなんだよ、千堂。昨日もさんざん言ったけど、千堂のこと、全部自分のものにしちやいたくて、たまらないんだって」

「だから、俺は、そういうのは要らないって」

きっぱり、しっかり——吐き捨てる。

とたん。

「ダメだよ、千堂」

神奈木のトーンが変質した。

「何がッ」

「おれ、もう、手放せないもん。千堂のこと」

したたかな肉食獣のごとく、神奈木はそう言い切った。

「千堂とはエッチ込みで、ちゃんと真面目にお付き合いしたいから」

言っている台詞は妙に軽いノリなのに、その口調も眼差しも——ずっしりと重い。

「だから、逃げないでね？ 千堂。ちゃんと、考えてね？ 気持ちを整理する時間が必要だって言うなら、待つけど。でも、一週間が限界」

そう言って。

「約束だよ？」

何をどう言っているのか言葉もなく固まってしまった一真のひたいに『チュッ』とキスをひとつ落として。神奈木は、

「んじゃ、おれ、教室に戻るね？」

いっそ晴れ晴れとした顔つきで出ていった。

本文 p190～194 より抜粋

作品の詳細や最新情報はダリア公式サイト「ダリアカフェ」をご覧ください。

ダリア公式サイト「ダリアカフェ」

<http://www.fwinc.jp/daria/>